

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2009年2月20日発行 第70号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ	P6
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P7 ~ P10
生徒支援からのお知らせ	P11
進路支援からのお知らせ	P12
今月の聖句	P13

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>

「学校通信」はバックナンバーを含め、本校のホームページでも閲覧できます。

今月のメッセージ



暖かい日差しはすぐそこにまで来ています!!

今年も寒い1月があっという間に過ぎ、2月になり立春のあたりから少しずつ暖かさを感じるようになりました。とはいえ、昨年の2月は雪が積もる日もありましたので、今後の天候によっては積雪を見ることになるかも知れませんね。

よく寒さも「奈良のお水取り」までと言いますが、この時期から三寒四温を繰り返し、本格的な春へと季節が変わっていきます。寒さの中にも、そろそろ身近なところに春を垣間見ることができるのではないのでしょうか。

さて、生徒のみなさんは後期単位認定テストを終え、その結果により今後の予定も決まることとなります。再テストなどがある生徒さんは、もう少しの間がんばりましょう。

卒業予定の生徒さんは、次の生活の準備に入りますが、高校生活を締めくくる時期でもありますので、充実した時間を過ごしてください。

朝の暖かい寝床から勇気を振り絞って起き上がり、冷たい大気の感触を味わいながら来る春を待ち、日々の生活を守るといふ、この時期独特の季節感を楽しんでください。

暖かい日差しはすぐそこにまでやって来ています。

本校の卒業要件

高校に3年以上在学すること。

74単位以上修得すること。

必要な教科・科目(必須科目)を履修すること。

「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。

特別活動に30時間以上参加すること。

(「2008年度学務の手引き」より抜粋)

2008年度 大阪YMCA 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」

フリビの信徒への手紙 2章 4節

Raising strong children and building a loving community
OSAKA YMCA Since 1882

2008年4月～2008年3月

スケジュール

予定日程表

日	曜	行事予定など
2 月		
2/20	金	「筆記式テスト結果・答案」発送
2/21	土	特別活動：街美化ボランティア
2/25	水	筆記式テストの再テスト 10：30～（再テスト代替課題提出締切り 15：00 必着）
2/27	金	「課題式テスト、筆記式テストの再テスト・再テスト代替課題」返送（予定）
2/28	土	1 年次・2 年次生対象「保護者ととともに進路を考える会」
3 月		
3/1	日	
2	月	2/28～3/15の間、 特別な用事がない限り 通学はできません。
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	卒業式（大阪 Y M C A 会館）
14	土	
15	日	
16	月	ホームルーム・講座説明会
17	火	
18	水	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
19	木	〔学校通信〕発送（予定）
20	金	（春分の日）
21	土	
22	日	
23	月	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
24	火	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
25	水	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
26	木	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
27	金	09 年度前期講座登録（年次別に日時を指定）
28	土	特別活動：街美化ボランティア
29	日	
30	月	
31	火	

教務からのお知らせ

【単位認定テストの筆記式テストの再テスト】 2月25日(水)

先に実施された筆記式テスト(追テストを含む)において、不合格となった講座のある人には、20日(金)の答案返送に合わせて、再テスト(講座によっては代わりに課題提出)の案内をお送りします。

該当者は案内にしたがい、再テストは2月25日(水)に受験し、課題提出の場合は、2月25日(水)15時学校必着で提出してください。

ただし、再テスト料・再テスト代替課題料が1講座につき1,000円必要です。

該当者には納入の案内をお送りします。納入されない場合は単位が認定されませんのでご注意ください。いったん納入された再テスト・課題料は、理由に関わらずお返してきませんので、ご了承ください。

【卒業予定者で「卒業認定の特例」適用の人へ】

この3月卒業予定者で、「卒業認定の特例」の申請により、必修科目の課題式テストの提出、筆記式テストの再テスト受験、再テスト代替課題提出の必要な人には、20日(金)の筆記式テスト結果送付時に、個人別に通知いたします。個別の案内を見て間違いのないようにしてください。

また、追加講座を登録している人は、登録した講座を必ず受講するように、再度確認をしてください。

また、特別活動の参加時間数が不足の人は、早急に充足させてください(〔学校通信〕12月号・1月号および今月号の「特別活動案内」参照)。

特別活動の報告書の締切りは、2月27日(金)17時学校必着です。

【2008年度後期卒業式】 3月13日(金)08年度後期卒業生対象

卒業式は、大阪YMCA会館(大阪市西区土佐堀1-5-6)で行います。

(式場の広さの都合上、本校ではありませんのでお間違えないように願います)

卒業決定者には、3月4日(水)頃、詳しい通知をお送りします。

なお、卒業式には卒業生とその保護者のみが出席できます。

【ホームルーム】 3月16日(月) 在籍生全員対象(卒業生を除く)

今年度最後のホームルームです。08年度後期の成績表をお渡しした後、新年度前期の講座登録(受講する講座の申し込み)について説明し、講座登録する日時の予約をします。

なお、講座登録は3月18日(水)から27日(金)のうち、年次別に指定された日に行います。

(2009年度の施設設備費を期日までに納入されてないと次年度の講座登録はできません。)
「事務室からのお知らせ」参照)

また、ホームルームの日に、新年度前期に開講予定の講座のうち、注意を要するいくつかについて、内容を説明する会を開きます。出席は任意（希望者のみ）ですが、系列の選択科目などで不本意な登録をしないためにも、なるべく出席してください。

年次別ホームルームと開講講座の説明会の時間は次表のとおりで、教室は当日掲示します。（ホームルームは特別活動1時間になります）

時 限	時 間	ホームルーム（HR）と講座の説明会
2 限目および 3 限目	10：30～11：05	1A 1B 1C 2A 2B 2C 2D 2E 2F 2G
	11：10～11：35	新年度前期の開講講座の説明会 （特別活動にはなりません）
	11：40～12：15	今期卒業しない3年次生 3A 3B 3C 3D 3E 3F 3G 3H 3I

街美化ボランティア

2月 21日（土） }
3月 28日（土） } 16：00 から約1時間（雨天決行）

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

（特別活動1時間。遅刻や途中で帰ったときは認定されません）

事務室からのお知らせ

【新年度事務手続きについて】

新年度を迎えるにあたって、次年度も在籍予定の場合、「2009年度 施設設備費」の納入と生徒証明書用写真の提出が必要となります。「2009年度 施設設備費納入のご案内」と「2009年度生徒証明書」用に必要な写真の提出用紙を送付いたしましたので、必ず下記期日までにお手続きください。(次年度「休学」又は「留学」する場合も前述の手続きが必要です。)

2009年度施設設備費(40,000円)の納入について

納入期限は3月17日(火)です。納入手続きがない場合、2009年度前期の講座登録ができません。また、在学の意思がないとみなし、場合によっては退学になることがあります。なお、施設設備費の延納手続きはできませんのでご注意ください。

「2009年度生徒証明書」について

2009年度生徒証明書用写真の提出が必要です。「2009年度施設設備費」納入の案内とともに提出用紙を送付していますので写真を添付して3月16日(月)までに提出(送付)してください。(証明用・背景なし・タテ3、5cm×ヨコ2、5cm・1枚)
2009年度生徒証明書は、3月18日(水)から始まる2009年度前期講座登録時に担任より配布いたします。

【住所等変更手続きについて】

現在学校に届けている住所や電話番号などが変更になった場合は、速やかに「各種変更届」に記入・押印のうえ事務室へ提出してください。特に生徒証明書の切り替えの時期ですので変更事項が決まっている場合は早めに届け出るようにしてください。

届出用紙は事務室にある他、「学務の手引き」の巻末にもあります。コピーして使用してください。

保健室・カウンセリングスペースからの お知らせ



* 法律で禁止されている薬物・ドラッグについて

ニュース番組などで一度は聞いたことがあるとは思いますが、絶対に知っておいて欲しいことがあります。もう一度、確認してください。

- ・持っているだけでも犯罪
- ・一回の使用で死に至ることもある
- ・使用すると、身体（細胞や骨など）と精神が壊されていく
- ・依存性が強く、意志があってもやめられなくなる

日本では、薬物の乱用を禁止し、法律（大麻取締法、毒物および劇物取締法、覚せい剤取締法、麻薬および向精神薬取締法など）で取り締まっています。薬物乱用とは、医薬品を本来の目的から逸脱した用法や容量あるいは目的のもとに使用すること、医療目的にない薬物を不正に使用することです。たとえ1度でも乱用にあたります。今月同封したプリントの他に、保健室にも簡単な冊子を置いてありますのでご覧ください。

【カウンセリングスペース】

保健室・カウンセリングスペース、及び事務机周辺での食事はご遠慮ください。

* 後期の開室期間は終了しました。2009年度に関しては、4月以降に連絡いたします。

* 保護者の方もご利用できます。

カウンセリングスペースについてのお問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。

< 保健室・カウンセリングスペース便り >

「一人ひとりの物語」

月曜日担当 石井 邦也

カウンセリングルームがカウンセリングスペースとして名が変えられ、1年が経過しました。卒業生も時々訪れてくれますが、新たな進路先で、新しく生きている姿をお聴きするのも楽しいです。ルームで話し合っていたことを卒業研究にまで広げて行った卒業生もいました。学院高校に入った当初は、自分の居場所がなかなか見えない不安があり、一人ひとりそれぞれに事情を抱え、動き出すことがなかなか難しく思っていた生徒さんが、YMCA 学院に通う中で、そのユニークな授業を通し、保健室という居場所を通し、あるいはカウンセリングスペースの利用によって、新しい一歩を踏み出しているのを目にするのは、とてもうれしいです。

去年、夏の授業「森林体験」を終え、「六甲山YMCA」から一緒に下山したA君の文章が学院のHPに掲載されました。一部を私なりに抜書きします。

中学2年くらいのころから、自分が過剰に対人恐怖であることを感じていた。不登校児だったので卒業式には出られなかった。高校生になっても、やはり不登校。最初の高校も1か月で辞め、新しい学校(YMCA学院高校)に入った。そこは、自分みたいな人たちが多くいた。最初のころは、ロビーで大勢の人に視線を向けられるのが怖くて泣き出してしまったこともあった。

保健室に行くこともあったが、なにかの病気をわずらっている人がいて、自分だけが苦しいのではないということが強烈に意識された。見るからに辛そうで、呼吸器系の器具を身につけていた。

またいろいろなタイプの先生がいて、気さくな先生やそうでない先生、生徒の授業態度を叱る先生や、逆に生徒と遊ぶ先生など個性がある。とても楽しい。学校ということを感じさせない。今の学校に通ってからというもの、過去の対人恐怖はどこかに消えていった感じがある。病気ではなく、一種の思い込みだったのかもしれない。今はほとんど人が怖くなくなった。

「症状・何か普通でない思い」が何時の間にか消え去った。それは病気ではなく、思い込みだったのかもしれない。そんな風に自分を振り返っています。学校に通うことで、授業を受け、保健室に行くことで、いろいろなタイプの先生、いろいろな事情を持った生徒さんとの交流を通し、過剰な対人恐怖感を手放すことに成功しています。カウンセリングスペースもそんな役割を果たせるスペース(場所・隙間)であることを願っています。

新しい担当者と共にそのスペースの利用に力を注ぎました。予約の調整が必要となった時も多く、また隣の保健室も盛況でした。いろいろな事情でYMCA学院高校で出会い、一人ひとりがそのことをそのこととして意味づけ、一旦幕を下ろし、次の場面に進む。一人ひとりのお話を聴きながら、そんな物語りが生まれることを願っています。

「無理せず ポチポチ マイペースで」

水曜日担当 浅野 献一

「孤独」な内にこもっていると、心、シンドク・酸欠状態になってくる。

だからきっと、人は、人と人との「間」に生きて(人間!) “つながる” ことによって、心、おだやかに歩むことが出来るんだと思わされた2008年度後期。

表面上は、明るく元気そうに装っていても、実は、悩みながら、肩肘張って、緊張しながら歩んでいる人が、多くいることを感じます。無理に押し付けられた期待に、なお押しつぶされそうな人もいる。過去の出来事や、感じたことに、足とらわれている人も。

「無理せず」。「ポチポチ」。「マイペースで」。繰り返し、言い続けたことです。「無理せず」とは、頑張ることを放棄することではなくて、自分自身を痛めすぎないことです。自分をいたわる・大切にすること。自分の思いを押し殺したりせずに、信頼できる人に自分の“思い”を出すことも「無理をしない」ことに入ってきます。

何でも先々を先取りしなければならぬと考えられている現代。その中で、焦ることによって、実は失敗は多くなり、急ぐことによって、大切なことを見落としていく。そうして、いつの間にか不安ばかりが孤独の内に、増していく。でも、そうではなく「ポチポチ」と、ゆったりと余裕をもった自分のペース(「マイペース」)で、歩いて行ってほしいと、願っています。

そして、それらのことは、自己完結的に自分だけでなされることではなくて、信頼に支えられた人と人との“つながり”の中でこそ実現されることだと考えます。

「無理せず」。「ポチポチ」。「マイペースで」。

「こころのクセ」

金曜日担当 道嶋 公子

話すときに手を動かすクセ。すぐに「あの～」と言うクセ。爪をかむクセ。分かっているけどなかなか治せないのがクセ。と、言うことで性格もクセみたいなものだ。

私の困ったクセは・・・例えば、友達夫婦と一緒にスキーに行った時のこと。私はい

つものように休憩もせずひたすら滑っている。私は上手に滑らないといけないのだ(と、自分が勝手に思い込んでいる)とにかく滑れない自分は許せない。頭の中の私は、シュッシュッと滑っているのであるが、現実の自分と来たら両足そろえて美しく滑られてない。クタクタになってやっと休憩。(本当はこの時間も惜しいのだが・・・)座っているとんだか涙がでてきた。「こんなに一生懸命に滑っているのに・・・。なんで下手くそやの・・・」こんな私を見て友達のダンナがひとこと。「たかがスキーやでえ。」そう。これが昔からある私の性格上のクセ。

このクセのために私は楽しむはずの時に楽しめていない。出来るまでは必死で練習し、すぐ出来ればいいけどそうでなかった時に悲惨な状態になってしまう。楽しむ時間などどこにもない。そして、この悲惨な状態の被害者はもちろん本人だけではない。このために泣いたり怒ったりする私に付き合わないといけない周りの人に大迷惑かけている。ここまで、分かっているのにこのクセはなかなか治すことができない。

ところがこの話を高校時代のクラブの友人に話すと大笑い。

「ほんま昔と変わらんあ。」そして、言われた。「それがなくなったらあんたじゃないやん。」と。

それを言われてイメージしてみた。出来なくても悔しがらずニコニコし、ムキになって練習しない私を。穏やか～に楽しそうにスキーをしている私を・・・。う～ん、私じゃないわ。確かにこのクセをとったら誰だか分からない。

分かっているけどなかなか治らないのがクセだし、これが私らしさというのであれば、じゃあ、このままでいいんだ！これが私なんだから。きっと私はそんなにすぐにムキになる私のことをどこかで好きなんだから♥

・・・といいつつも、結局このクセで被害をこうむっているのは私自身でもある。直したいけど直らない。私らしさを残しつつも、もう少しだけ穏やかな人生になるようこの性格のクセなんとかしたいなあ。ところでみんなの心のクセはどんなのですか？

「言葉にできない気持ち」を聴く

保健室担当 後藤 さやか

みなさんは「保健室」にどんなイメージを持っていますか？「怪我や病気の時に来る場所」、「気持ちがしんどくなった時に来る場所」、「空き時間を自由に過ごす(談話、学習、読書などをする)場所」など、色々あると思います。本校の保健室は、それらの全てに当てはまると私は思っています。

色々な理由で多くの生徒さんが来室する保健室、聞こえてくる話も学校生活の中のことだけにとどまらず、友達関係・恋愛のこと、家族・ペットのこと、趣味・バイトのこと・・・など様々です。話を聴いていると、私には経験したことがないようなこともあり、すぐには言葉が出にくい時もあります。

“すぐには言葉が出にくい”、それは話す側にも起こることなのかなと思います。何か話したいことがある時、「聞いて～」と言える時も、「あんな、・・・」の後が続かない時も、何も言えない時もあります。時には、言葉より先に涙が出てしまって、泣いてしまうことも・・・。その時に理由は解らなくても、“話したい気持ち”は伝わるので、それでもいいと思っています。

“本当の気持ち”や“言いたいこと”を言うのは、少なからず不安があります。私はなかなか言えないし、言えるまでには時間がかかります。みなさんの周りにも、同じような人がいるかもしれません。自分と比べてみて、より本音を言っているように思える人がいても、焦らず自分のペースを大事にしてください。自分と比べてみて、全然本音を言ってくれてないように思える人がいても、諦めずその人のペースを大事にしましょう。来年度もみなさんが健康に過ごせますように。

最後に、3月に卒業する生徒さんに一言、これからも応援しています、卒業おめでとうございます！

「Change」

保健環境担当 加志 勉

今年の1月に就任したアメリカ大統領オバマ氏が「Change」という言葉と「Yes, we can.」を演説の中で使っていたことは皆さんもご存知だと思います。この「Change」という言葉を考えると口でいうほど人を変えるということは簡単だとは思いません。そして、「Change」にはかなりの労力（Power）が必要だと思います。みなさんも何度か自分を「Change」したいと思ったことはあるのではないのでしょうか。きっとこの学校に入学を考えた時に思いの大小はあるかもしれないけれど、考えたのではないのでしょうか。何らかの理由で「Change」を迫られることもあるだろうし、自分で何とか性格などを「Change」したいなと思っている人はきっと多いのではないのでしょうか。

私もそう考えている一人です。先日テレビを見ていてある番組で「マラソンを走って何かを変えてみたい」ということを言っていた人がいました。実は私もそう考えている一人で、3月1日に行われる「篠山ABCマラソン大会」にエントリーしました。年末から何度かトレーニングをしているのですが、走るということは本当に大変なことで自分との戦いだなと思いました。というのは、年末に今回のマラソンに誘ってくれた私の大学時代の大先輩と28Kmを走るトレーニングをしました。初めて走る私にとって未知の距離でした。途中脚がつりそうになって歩いたりしましたが、一緒に走ってくれる人がいると「何とかがんばらないと」という思いになって完走（+歩き）できました。でもその後何度か一人で走ったら、途中でしんどくなってめげてしまうことがしばしばありました。あらためて人間は一人では弱いものだなと思いました。なんとか42.195Kmを走って何かを変えてみたいと思っています。

「会話の先に・・・」

保健環境担当 谷口 佳江

会話をするのは、人と関わるスタートですが、どこにゴールがあるかはわかりません。自分でゴールを設定しても、そこにたどり着くとは限らず、違う方向に行くことも多いと思います。どこに行くのかは話してみないとわかりません。

人と人が分かり合うためにお互いに話すことが必要と言いますが、これは単純なようで難しいことです。最近、自分の思い込みが激しいことに気づきました。この人はやさしそうとか、こわそうとか・・・そう思って、そこから先に進みません。しかし、あらかじめこの人はこういう考えだからと決めつけているとその思い込みが邪魔をして、その人本来の思いが見えにくくなっているのではないかと、思うようになりました。自分の思い込みであって、違う思いもあるということは人と関わっていく中で気づくことも多いです。自分と人とは違う、と！

とあるマンガにこんなセリフがありました。

“人の会話で「つまらない」って思うのは着地点を自分で「つまらない」に設定してるから。人のつまらない会話でもそれは会話の発進点だと思えばいい。そこから会話が生まれる。”

会話はお互いが作り出していくものです。どちらが良い悪いはないです。思い込みに縛られずに会話から生まれる可能性を感じていきませんか？未来がわからないように、会話の先に生まれるものは何であるかわかりません。わからないものに向かうのは不安もあります。それでも、私は会話の先にあるものを楽しみたいです。

生徒支援からのお知らせ



先月号でもお知らせしたとおり、スクーリング終了後から新年度がスタートするまでは自習室・スポーツヤードを含めた学校施設は利用できないので、特別な用事がない限り、生徒のみなさんは登校しないで下さい。ただし、再テストを受験する必要がある人やホームルーム・来期の講座登録などには忘れないで登校してください。日程をよく確認しておいてください。進路相談など相談がある人は、事前に担任に連絡をとってから登校してください(月～金の10:30～16:00の範囲で受け付けます)。また、クラブ・サークル活動をする人は事前の活動計画を提出し、それに従ってください。

単位認定テストが終了し、ほっとしている時期だと思いますが、通信制の長所である長期休みを有意義に過ごしてください。ただし、再テスト・再課題がある人は日程・提出期限を忘れないように。旅行に出かけたり、アルバイトを始めてみるのもいいのではないのでしょうか。また、大学・専門学校に進学を希望する人はそのための受験準備を始めるのもいいでしょう。周りにそんなことをしている友達が多いのも通信制ならではの楽しみです。新しい体験を通じて、新しい自分を発見し、新年度にたくさんのお土産話を聞くのを楽しみにしています。

「学務の手引き2009年度版」を現在改訂作業中です。もしばらくしたらお渡しできると思いますが、そのうち「賞罰規定」「校内生活上の決まり」と「校内生活における確認事項」が一部変更になっています。受け取ったらよく読んでおいてください。

進路支援からのお知らせ

【国公立大学の2次試験について】

私立大学の一般前期入試もほぼ終了し、まもなく国公立大学の2次試験が始まります。2008年度入試も大詰めの時期となりました。これから受験をむかえる皆さんは、健康に留意し、最後まであきらめずにがんばってください。

また、万一、不本意な結果になった場合は、できるだけ早く担任または進路支援部に相談に来てください。私立大学後期入試等、チャンスはまだあります。

【『保護者ととともに進路を考える会』のご案内】

すでにご案内していますが、1・2年次生の保護者を対象に『保護者ととともに進路を考える会』を2月28日(土)に実施します。おもな内容は次の通りです。

[2年次生対象の『保護者と共に進路を考える会』]

日 時：2月28日(土) 10:00~12:15頃

卒業生及び卒業予定者からのメッセージ(保護者へむけて)

自分の進路にどのように向きあったか -

ゲストに卒業生及び卒業予定者を招き、どんな気持ちで自分が進路に向き合ったか、また、保護者にして欲しかったこと、して欲しくなかったことなど忌憚なく話していただきます。

進路情報

HR別の会

[1年次生対象の『保護者ととともに進路を考える会』]

日 時：2月28日(土) 14:00~16:00頃

講 師：奥平 温子さん(キャリアカウンセラー)

キャリアカウンセラーからのメッセージ(保護者へむけて)

お子様の進路にどのように寄り添うのか -

生徒や保護者からの目線に立った視点で、分かりやすい内容、直ぐに役立つ実践的な内容のお話です。

進路における本校からのメッセージ

進路情報

HR別の会

すでにお送りしています申込用紙をご利用の上、2/25(水)までにお申し込みください。



今月の聖句



『時は満ち、神の国は近づいた。
悔い改めて福音を信じなさい。』

(マルコによる福音書 1 章 15 節)

イエス・キリストの到来は神様の歴史への直接的な介入を現します。キリストを通して神さまの愛のご支配が始まりました。神はキリストにあって、わたしたちを見つめ、声をかけて呼び出しています。この呼びかけに応え、わたしたちは生きる方向を変える(悔い改め)、つまりイエス・キリストの方向に姿勢を向け、キリストの愛のご支配の中に身をゆだねて行きます。そこに新生の命が始まります。



南YMCA「キリスト教」委員会2008
(日本聖公会 大阪聖愛教会 木村幸夫司祭より)

C A R I N G
Y M
R E S P E C T H O N E S T Y
C A
R E S P O N S I B I L I T Y